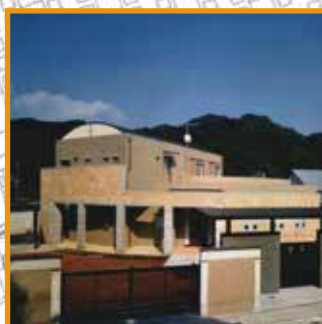


Kobayashi architect office

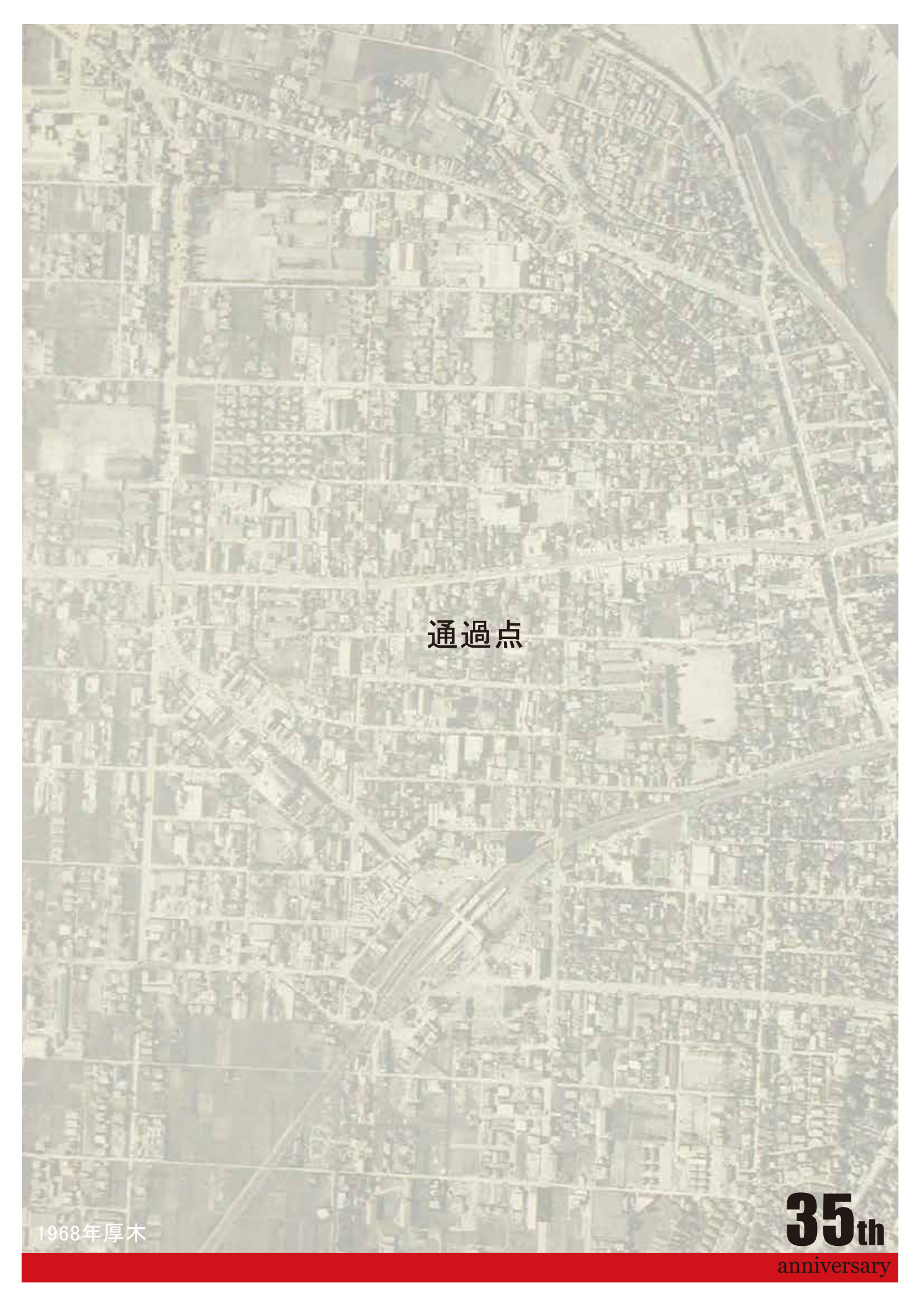
通過点 35th anniversary



株式会社 小林建築事務所

Kobayashi architect office
35th anniversary

(株)小林建築事務所設立 35 周年記念誌

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, showing a dense grid of streets and buildings. A river flows through the upper right portion of the image. A large, elongated stadium-like structure is visible in the lower center. The text "通過点" is overlaid in the center of the image.

通過点

1968年厚木

35th
anniversary



35周年を迎えて・・・

株式会社小林建築事務所を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本日の記念パーティは、2000年の節目を契機に、社内スタッフの提案で開催する運びとなりました。

社内スタッフの手作りの企画の中、本日の記念パーティは、事務所のOB皆様、協力事務所の皆様をお招きして「通過点」というタイトルのもと、事務所の歴史を語り合い未来を見据えた中で議論する場を提供させて頂き、出席者のより一層の連帯の絆が結ばれることが出来れば幸いと存じます。

事務所は、昭和40年いざなぎ景気の走りの年に開設され、第一次オイルショック、第二次オイルショックの荒海にもまれ、又、バブル崩壊後の平成不況が続く中、お陰様で平成12年2月1日をもちまして設立35周年を迎える事が出来ました。

当事務所開設以来の事務所OBの皆様は55名になります。今日は事務所の礎を作ってくださった皆様に心から感謝申し上げます。

又、良きパートナーとして事務所を支えて頂いている協力事務所の皆様に心から感謝申し上げます。

私が事務所に入社して20年、代表取締役役に就任して15年、初代社長小林栄喜智氏が勇退されてすでに5年経過しました。

社是（積極的創意と調和）のもと総力をあげて今後も頑張っていく所存でございます。今後とも皆様のご指導ご協力を頂けます様お願い申し上げます。

代表取締役社長 嘉村 浩男

■株式会社 小林建築事務所 沿革

1959年(昭和34年)	4月	新生建築設計事務所 設立
1965年(昭和40年)	2月	(株)小林青山建築事務所(厚木市中町630)設立
1966年(昭和41年)	12月	社名変更 (株)小林建築事務所
1970年(昭和45年)		受託件数2000件
1971年(昭和46年)	6月	資本金 800万円 (増資第1回)
1973年(昭和48年)	9月	小林ビル入居(厚木市中町2-11-10)
1977年(昭和52年)	2月	相模原支所 開設
	9月	相模原支所 移転
1978年(昭和53年)		受託件数3000件
1980年(昭和55年)	7月	資本金 1,500万円 (増資第2回)
1981年(昭和56年)	7月	新受託カード 導入
1982年(昭和57年)		10帳簿制 導入
1983年(昭和58年)	7月	相模原支所 移転
	10月	県優良工事表彰(県営岡田団地)
1985年(昭和60年)	8月	資本金 2,100万円 (増資第3回)
		社長交代
1987年(昭和62年)	9月	沢崎ビル(厚木市中町3-18-8) 入居
1988年(昭和63年)		受託件数 3500件
1989年(平成1年)	8月	相模原支所 廃止 社内改革
1990年(平成2年)		社内機器整備
1995年(平成7年)	6月	相談役 退任
		OA化 拡充
1998年(平成10年)	11月	日本建築士事務所協会連合会奨励賞(黄金井邸)
1999年(平成11年)	11月	社内LAN 整備
2000年(平成12年)	2月	会社設立35周年



社会情勢	受託件数
皇太子ご成婚 建築基準法改正	500
いざなぎ景気 アポロ11号月面着陸に成功 日本万国博覧会	2240
第1次石油危機 沖縄施設権返還 ベトナム戦争終結	2847
第2次石油危機	
新耐震設計法導入	3132
イラン・イラク戦争始まる	
地価高騰 ホテルニュージャパン火災 大韓航空機墜落 バブル景気 高層マンションブーム	3330
湾岸戦争 国鉄民営化・バブル崩壊 阪神淡路大震災	
消費税実施 平成不況 東西ドイツ統一	3591
阪神、淡路大震災、地下鉄サリン事件	3761
香港返還、消費税5%へ ユーロ発足	3893



Kobayashi
architect
office



35th anniversary

Kobayashi architect office

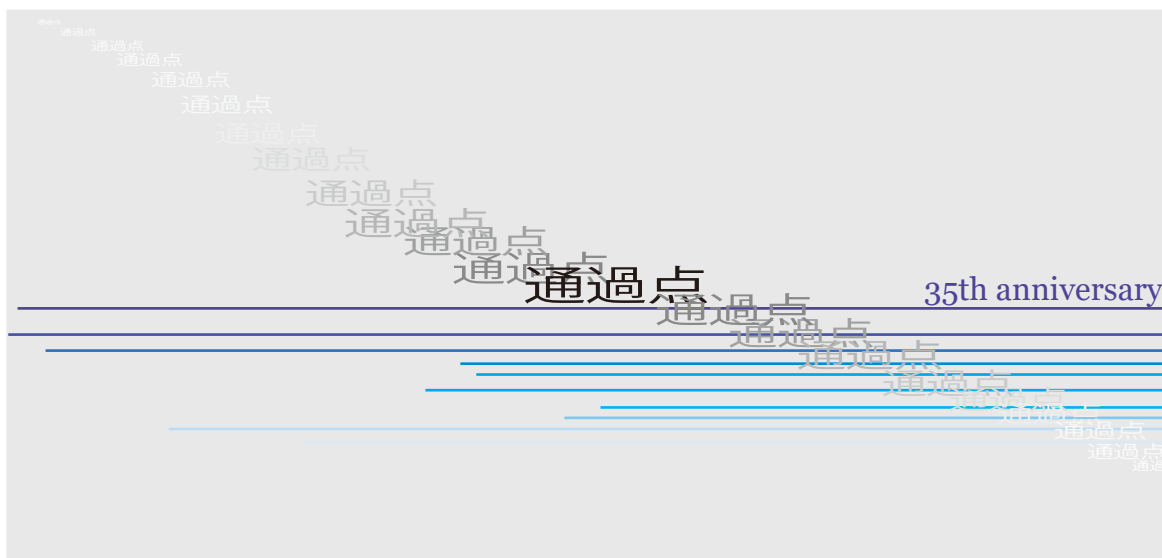
35th anniversary



works



1965~1999



■作品集懐古

事務所創設時の作品を知る社員も少なくなり、40年代の写真を見て、

「どこの建物だろう？」と長老、

「この建物どこで見たことがある・・・」と中堅、

「こんな建物やったことがあるんですか？」と若手。

厚木市街地のビルを見渡し、半分は事務所で関係したと自慢した時もありました。

神奈川県で初めて高校の外部コンクリート打放し仕上げを行い、厚木市では小中学校の内外共
コンクリート打放し仕上げを初めて行うなど、・・・

何事も初めてにチャレンジし、次は何かと常に研究してきました。

- ・ 厚木市から近隣市町村又県西、県北の市町へと広がってきました。
- ・ プロポーザルで当選し設計できた建物も多数あります。
- ・ 神奈川県の高校も4校 県下設計事務所でもトップ？。
- ・ 10年がかりで完成した団地もありました。
- ・ 1期、2期、3期・・・のお手伝いをさせていただいた長いお付き合いを頂いている学園もあります。
- ・ 住まわれる方とのコミュニケーションが大事な住宅も多数手がけました。
- ・ 神奈川県屋根、丹沢山塊塔ヶ岳山頂の山小屋も手がけました。

現在までの受託件数は3893件にのぼり、ここに集めた作品はその内のごく一部ですが、
初期を知るOBの方には懐かしい作品であり、協力事務所の方にとっても当時のエピソードや
苦労話が昨日のことのよう思い浮かぶのではないのでしょうか。

■ Satō

相模原信用組合
RC造 3F 延511.95㎡
相模原市橋本 昭和40年



静本ビル
RC造 6F 延3,159㎡
厚木市中町 昭和40年



イシケン・岡本共同ビル
RC造 4F 延1,253.75㎡ 厚木市中町 昭和41年



大久保歯車工業共同住宅
RC造 5F 延1,739.77㎡ 厚木市中依知 昭和42年



トキワビル
RC造 3F 延1,175.405㎡ 厚木市中町 昭和42年



静厚荘
RC造 4F 延858.304㎡ 厚木市栄町 昭和44年



ホテルサンライズ
RC造 6F 延632.30㎡ 厚木市厚木 昭和47年



小林ビル
RC造 5F 延1,012.71㎡
厚木市中町 昭和47年



厚木市慰霊堂
RC造 1F 延35.00㎡ 厚木市飯山 昭和48年



県立麻溝台高校
RC造 5F 延11,852.945㎡ 相模原市麻溝台 昭和48年



厚木中学校
RC造 4F 延6,835.00㎡ 厚木市水引 昭和49年



妻田小学校 RC造 4F 延5,400.195㎡ 厚木市妻田 昭和50年



厚木保育所
RC造 2F 延800.20㎡ 厚木市中町 昭和51年



中津南保育園
RC造 2F 延843.53㎡ 愛川町中津 昭和52年



依知公民館
RC造 2F 延549.40㎡ 厚木市関口 昭和52年



相川小学校
RC造 4F 延3,316.10㎡ 厚木市酒井 昭和52年



南部給食センター
RC造 2F 延1,711.42㎡ 厚木市船子 昭和53年



座間養護学校 RC造 2F 延6,337.00㎡ 座間市入谷 昭和53年



秦野南が丘高校
RC造 7F 延31,128.72㎡ 秦野市南が丘 昭和55年



厚木保健センター・婦人会館
RC造 4F 延3,090.10㎡ 厚木市中町 昭和55年



厚木センタービル
SRC造 6F, B1F 延2,916㎡
厚木市中町 昭和56年



厚木北地区児童館
RC造 2F 延637.70㎡ 厚木市元町 昭和56年



岡田団地
RC造 3F
寒川町岡田 昭和56年





AIDAビル
SRC造 8F 延967.03㎡
厚木市中町 昭和57年



中三ビル
RC造 5F 延1,949.341㎡
厚木市中町 昭和57年



桜丘地区学習等供用施設
RC造 2F 延527.63㎡
大和市上和田 昭和57年



厚木西高校
S・RC造 4 F 延10,579.05㎡ 厚木市上古沢 昭和57年



ライフセンター
RC造 3 F 延1,576.996㎡ 厚木市松枝 昭和57年



パークビル
RC造 6 F 延1,264.94㎡
厚木市中町 昭和58年



綾瀬市保健相談センター
RC造 2F 延1,345.357㎡ 綾瀬市深谷 昭和58年



森の里小学校
RC造 4F 延7,533.00㎡ 厚木市小野 昭和58年



ホテルカレン
RC造 2F 延1,369.12㎡
厚木市岡田 昭和59年



厚木高等専修学校（1期）
RC造 3F 延1,623.53㎡ 厚木市恩名 昭和59年



大和屋
RC造 3F 延895.45㎡
厚木市飯山 昭和59年



愛甲商工会館
RC造 2F 延493㎡
愛川町角田 昭和59年



宮ヶ瀬小学校・中学校
S・RC造 2F 延2,894.182㎡ 清川村宮ヶ瀬 昭和59年



佐野邸
RC造 3F 延283.98㎡ 厚木市寿町 昭和59年



中里学園
RC造 3 F 延5,517.00㎡ 横浜市緑区 昭和60年



Yビル
RC造 7 F 延1,295.00㎡
厚木市中町 昭和60年



睦台東中学校
RC造 4 F 延10,795.00㎡ 厚木市三田 昭和60年



Y・Iビル
RC造 6F 延638.01㎡
厚木市旭町 平成2年



及川児童館・老人憩の家
S造 2F 延425.05㎡
厚木市及川 平成2年



小松原住区学習供用施設
RC造 2F 延885.448㎡ 座間市小松原 平成2年

■ 近年の事務所作品回想

世界の社会状況・経済状況の波が、多くの情報を
伴い小国日本丸（最近は大タンカー位になったの
でしょうか）にも大きなうねりとして押し寄せてくる中、
近年建築が求められる要素も大分変わってきている
など感じます。

モダンからポストモダンそして……と時代と共に流
れ行く建築デザインを文化として熱く語る以前に、発
注形式は、VEあるいはPFI等「基本的な機能が満足
されかつ安くできれば良し」とされる風潮が当たり前
の様に語られ、我々職能として置かれた厳しい状況
下で、社会的責任だけは、益々重くなっているの
が現実です。

このように建築コストとの戦いの中、私達は規模の
大小に限らず建物周辺の環境を熟慮し、それらの景
観の中に緩やかに溶け込む様な質の高い作品を世
に送り続けてきたと自負いたしております。

これらの活動が昭和58年神奈川県優良工事の表
彰、平成10年建築士事務所協会全国大会におけ
る奨励賞受賞と、社会的にも認知されたことを嬉しく
思います。

しかし皆さん、昭和41年の「イシケン・岡本共同ビ
ル」と平成9年の「塩塚クリニック」を見て下さい。

小林建築事務所は、永遠に不滅です。

■ Yuyama



編集後記

35周年なんと長い年月でしょう、私達の生まれる前から事務所が有るとはすごい！！
それを私達編集スタッフ（若手）でまとめてみました。
作品・事務所の人々に触れ一まわりも二まわりも自分自身大きく成長したと思います。
いろいろな方にお力を頂いて納得のいける作品が出来たと思います。ご協力ありがとうございました。

（平間）

ご意見をお寄せください

編集部では、皆様の本誌あるいは広くデザインに対するご意見、ご感想をお待ちしております。ぜひお便りをお寄せください。

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3丁目18番8号
（株）小林建築事務所「通過点」編集係まで
fax046・221・3323
e-mail:KOBAYASI@aec.or.jp

Please send us your comments.

We would like hear comments and ideas about our magazine and on design in general. Just send us a letter.

3-18-8nakachou, atsugi, kanagawa243 0018. japan



35th Anniversary
April 2000

- 特集「(株)小林建築事務所・通過点」
- 社長挨拶
- 作品
- 親睦会スナップなど

発行人：小林 一博 / 編集長：平間 千晴 / アートディレクター：山本 文 / 編集スタッフ：坂谷 愛 / 梶谷 朋子
文章：山宮 康延 / フォント：アドビタイプライブラリー / 発行所：(株)小林建築事務所
Executive Director: Kazuhiro Kobayashi / Editor in chief: Chiharu Hirama / Art Director: Aya Yamamoto / Editorial Staff: Ai Sakatani, Tomoko Kajitani
Writer: Yasunobu Yamamiya / Fonts: Adobe Type Library
©本誌の写真、記事の無断転写を禁じます。

